



平成 30 年 5 月 14 日

会 社 名 株式会社 進学会ホールディングス
代表者名 代表取締役会長 平井 睦雄
(コード番号 9760 東証第 1 部)
問合せ先 取締役 執行役員社長
管理本部長 松田 啓
(TEL. 011-863-5557)

固定資産の減損損失及び営業外費用(為替差損)の計上 及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期において、下記のとおり固定資産の減損損失及び営業外費用(為替差損)を計上するとともに、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の計上について

平成30年3月期において、当社及び連結子会社が保有する固定資産について減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失として136百万円を計上することといたしました。

2. 営業外費用(為替差損)の計上について

当社が保有している外貨建債券において、為替差損115百万円を計上いたしました。

3. 平成 30 年 3 月期業績予想数値と実績値との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想との差異

[単位：百万円、%]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,600	330	700	530	円 銭 26.53
実績値(B)	6,624	△192	△89	△249	△12.51
増減額(B-A)	24	△522	△789	△779	
増減率(%)	0.4	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	6,122	95	670	305	15.28

(2) 個別業績予想との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,250	350	300	円 銭 15.01
実績値(B)	2,674	70	△278	△13.92
増減額(B-A)	△2,575	△279	△578	
増減率(%)	△49.1	△80.0	—	
(参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,055	48	221	11.10

4. 差異の理由

(1) 連結業績予想との差異が生じた理由

売上高は積極的な会場新設による生徒増や賃貸用不動産物件の増加による賃貸事業収入の増加、さらに資金運用事業の収入が予想を上回ったことなどから、当初計画を上回りました。

営業利益は、資金運用事業において、当初 200 百万円の営業利益を見込んでいましたが、株式市場の変化に伴い、営業損失 363 百万円を計上した結果、当初計画を下回りました。

経常利益は、為替差損を 115 百万円計上した結果、当初計画を下回りました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初の予想数値を下回りました。

(2) 個別業績予想との差異が生じた理由

当社は、平成 29 年 10 月 2 日新設分割により、持株会社体制に移行いたしました。個別業績につきましては、グループ子会社からの経営指導料収入や配当収入等により持株会社としての運用経費等を賄う収益構造となりました。このため、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）業績予想数値と差異が生じております。

5. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「平成 30 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上